



飯綱町コミュニティスクールだより



No.9 令和2年7月1日 飯綱町教育委員会

子どもたちの輝く笑顔が学校に

飯綱町の小中学校は6月1日（月）に通常通り授業が再開されました。小学校は、学校生活への適応を考慮して下校時刻がだんだん遅くなるように日課が組まれました。

子どもたちの授業や遊びに向かう「やる気」の姿から、学校再開への喜びが伝わってきます。



校舎に向かってダッシュの姿も。



「おはようございます」と見守り隊の皆様元気よく挨拶して、スクールバスから降車。



登校後は、外に出て遊具で遊んだり、追いかっこをしたりと元気いっぱいの姿。



教室では、机の位置を隣前後、間隔をとるために教室いっぱい広がっています。

手を挙げたり、発言したりと授業に向かう姿は学校では当たり前です。しかし今回新型コロナウイルス感染症予防のために自宅での学習を余儀なくされ、当たり前の学校生活を送ることが出来ませんでした。そのような経験をしているので、友だちと関わりながら学習できることを噛みしめているかのような様子でした。



飯綱中学校も学校が再開し給食が久しぶりに始まりました。手洗い場所には、前後の間隔を示す目印テープが貼られ密にならないよう対策をしていました。当番は、使い捨て手袋をして盛り付けをしていました。各生徒の座席は、授業中と同じように隣と前後の間をとるために教室いっぱい広がっていました。

この日は短い時間で準備できるようにおかずが1品少ないメニューになっていました。



子どもの見守りをお願いします

子ども安全見守り隊の皆様による登校や下校時の見守りが学校再開と同時に始まりました。あわせて午後3時15分に防災無線よりオルゴール風のメロディーを流すことも再開しました。このメロディーは小学校の校歌（明日へ）をオルゴール風にアレンジしたものです。最初に下校を始める小学1年生の下校時刻に合わせてあります。このあと小学校中学年、高学年、中学生がそれぞれの下校時刻に合わせて順次下校していきます。農作業やウオーキング等をしている時に子どもたちの下校の姿を見かけましたら、視線をそちらに向けたり、「おかえり」等の声をかけたりして防犯対策につなげてください。住民による声かけや子どもたちも挨拶を返す等の関わりを通して、地域の皆さんと心の交流を図り「ふるさと飯綱町」が子どもたちの心に培われていくことを願っています。

【時計の設置ボランティア】

登校や下校の時に歩いている子どもたちが今の時間を確認できるようになると、遅刻ぎりぎりとか帰宅が遅くなる等に対して子どもなりの自覚を持たせる事が期待できます。家の外壁等歩行者にも見えるような位置に時計の設置が可能な住民の皆様には、ご協力いただければ幸いです。子どもの見守りに繋がります。

遊びながら体づくり



三水小学校には、庭にある鉄棒と校舎のベランダをロープで結び、そのロープにリレーバトンを通した手作り運動用具「バトンスロー」があります。バトン握って校舎に向かって投げると、投げたバトンは、自然に元の位置まで戻ってきます。この運動を繰り返すことで投げる力が鍛えられます。また到達した距離が分かるので、力の加減を掴むこともできます。1年生から6年生までどの学年の子どもたちも気軽に楽しめます。休日には、親子で楽しんでいる姿も見られます。